

地域相談支援フォーラム in 近畿
2017年1月23日

がん相談支援センターとの連携と協働

<ゆずりは>からのメッセージ

がん患者グループゆずりは
代表 宮本直治



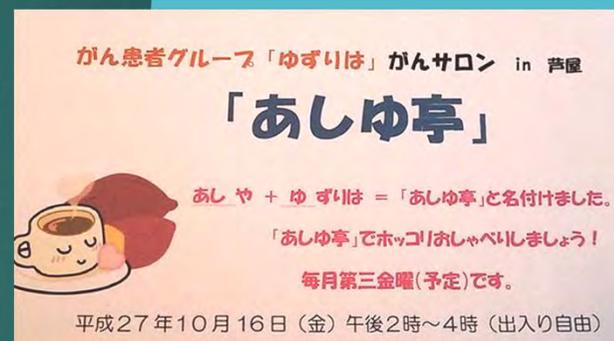
がん患者グループ ゆずりは

- ◆ 1996年3月 神戸市で発足(前代表は黒田裕子氏)
- ◆ 事務所:市立芦屋病院 総務課内
- ◆ 代表:宮本直治 (北野病院薬剤師・僧侶)
- ◆ 会員:患者、家族、遺族、医療関係者、支援者など約100名
- ◆ がん全般を対象

- 定例会 毎月 第二(土) 兵庫県民会館
- あしゆ亭(サロン) 毎月 第三(金) 市立芦屋病院内カフェ
- 毎月会報発行

神戸の患者会が公立病院に入った経緯

- ▶ 前代表死去⇒事務所探し (2014年10月初旬)
- ▶ 10月7日 芦屋病院緩和ケア病棟見学 ⇒ **ひらめき** 緩和ケア内科部長に交渉
- ▶ 10月9日 事業管理者面談
- ▶ 10月22日 正式文書
- ▶ 11月22日 がんサロン あしゆ亭開催
毎月 **第三(金)**に開催



地域のため！

芦屋病院に受診歴ない方やご家族もOK

ゆずりは



協力

市立芦屋病院

- サロン・定例会チラシ
- ホームページ掲載
- 市政ニュース掲載

がん患者グループ「ゆずりは」

がんという病を抱え込む時
心に風が吹きに抜ける・・・
一緒に時を過ごしましょう。
患者さんやご家族が 思いを語れる場

がん患者グループゆずりは
フェイスブックも御覧下さい

市立芦屋病院
Ashiya Municipal Hospital

お問い合わせ 交通案内 サイトマップ

Google 検索

文字サイズ 小さく 大きく English

病院のご案内
Hospital guide

がん患者
患者会

がん患者グル
地域を限定せ
誰でも参加で
しました。

モットーは、一
ごせるよう、支
一人でも多く
ことです。

日時：2016年
場所：兵庫県
参加費：一般800円
体験者にはか
掛ける機会を
提供します。

2016年3月例会
「話
しあひなせ」

日時：2016年
場所：兵庫県
参加費：一般800円

日時：2016年2月19日(金)・3月18日(金) 各日
場所：市立芦屋病院 管理棟4階レストラン Cafe d
参加費は無料ですが、各自、レストラン・カフェメ
がん患者さん、ご家族、お友達、医療スタッフ どの

広報 **あしや**
Garden City Ashiya

No.1167 平成27年 11月1日号
(2015年) 毎月1日・15日発行

発行/
芦屋市役所(広報国際交流課)
TEL:078-31-012 / FAX:078-31-2182
〒658-8501 兵庫県芦屋市北町7番4号
芦屋市役所
http://www.city.ashiya.lg.jp
〒658-8502
芦屋市役所庶務課

庭園都市芦屋へ

平成27年11月1日発行

芦屋市役所庶務課

戦後70年・非核平和都市宣言30周年
記念誌 (市役所北広場)

ゆずりは



協力

市立芦屋病院



- がんサロンに看護師
- 芦屋病院公開講座



「こんな患者会を知りたかったの」・・・参加者に言われました



ゆずりは活動

講演会

- 医療相談窓口について
- 在宅の現実
- ホスピス医の人生観
- 今を大切に生きる、宗教哲学者の話



患者・家族・遺族・医療者など

交流会

- 手術の決断ができない
- 告知され、これから治療に臨む女性
- 死をどう考えるか？



交流会

Aさん:手術を勧められたが、決められない

ガンの手術を受けた人、挙手！

《手術を迷った人》の経験談

《迷わずに手術を受けた人》の体験談



「人に頼る事」の大切さが分かりました。
道は一本ではないのですね。
自分に出来ることをしていこうと思います。

がんサロン“あしゆ亭”

がん患者って 最期は？

緩和ケアNS: 緩和ケア病棟で痛みに苦しむ人は少ない。

地域相談NS: 在宅で受けれるサービスについて情報提供

遺族: 次の治療が困難だと分かった時、時間がなかった。

へえ? そうなんですね。

患者会代表: 状況は急に変化。対応するために勉強すること。
支えてくれる人は多く、準備をしていれば安心。



連携 ゆずりは 地域へ チラシ配布場所 開拓中

1. 市立芦屋病院
2. 神戸大学医学部附属病院
3. 神戸市立医療センター中央市民病院
4. 兵庫医大病院
5. 宝塚市立病院
6. 低侵襲がん医療センター
7. 近畿中央病院
8. 関本クリニック
9. 関西労災病院
10. 県立尼崎総合医療センター
11. 公益財団法人 大阪 北野病院
12. 神戸医療センター
13. 長尾クリニック

相談員さん・主治医からの勧めで ここに来ました

この言葉は
とても嬉しいものです。

ゆずりは構想

- ①チラシ設置の病院・施設を拡大
- ②定例会・あしゆ亭への参加者数アップ
- ③意志ある患者が 各**地域**や**病院内**でサロン**立ちあげ**

＜ゆずりは＞バックアップ＋病院側の協力

イメージ：あしゆ亭出張所

サロンでの注意点

- ▶ 狭い部屋の言葉は影響が大



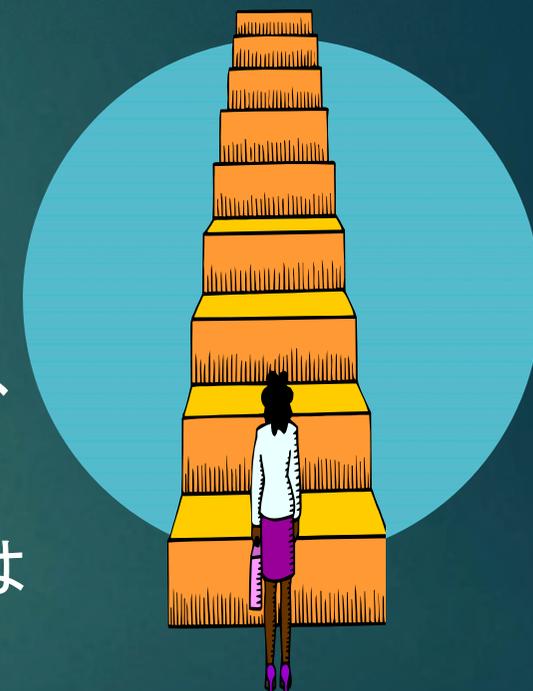
大勢の参加者がいると発言が安全。中心柱は＜ゆずりは定例会＞

未経験の治療を前にした者
治療変更を余儀なくされた患者

独りたたずむ

患者にとっても
本心の全てを明かすことのできる人は少なく、

その気持を汲みながらアドバイスできる人は
意外と見つからない。



その道を先に歩んだ者は手を差し伸べることが出来る。

提案協働モデル・・・（例）在宅移行

病院側の情報・・・生活が見えにくい。

支援センター：患者会で開く「在宅に関する勉強会」を案内

体験者の言葉から生活を思い浮かべ、
先を歩く者の想いに触れる



次の扉のドアノブを握る勇気



支援センターの方々へ

ご自身もくゆずりは>へ参加してみてください。

私達の顔

《患者さん》を把握するアンテナ感度を上げて下さい。

患者さんの顔

顔の見える関係構築

《両者をつなぐ》役目をお願いします。



役割

あなたは一人ではないというメッセージを送ること

その人の視野を広げること



がんになった後の自分の生き方を考える会



この会に入って、いろんなことが聞ける。
がんになったことがありがたいと
思えるようになってきた。

どうぞ



私達の経験も活用してください。

御静聴、ありがとうございました。

がん患者グループゆずりは 代表 宮本直治

お願い



患者さんへのご案内を
お願いします。

お問い合わせは



kobeyuzuriha@gmail.com